

ま 真室川町

議会だより

2021年7月26日

No. **155**



2年ぶりのプール開き

— 釜淵保育所 —

降ひょう被害対策に補正予算(議案審議) 2

一般質問(6人登壇) 4

新人議員研修 10

請願・陳情・議会のうごき 11

町民の声 12

6月定例会

会期：6月16日～18日

6月定例会は、16日から18日までの3日間の会期で開かれ、専決処分の報告や人事案件、物品購入契約、一般会計補正予算など町長提出案件10議案と、議員発議1件を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

一般会計補正予算

◆降ひょう被害対策

高橋秀則議員 5月25日の降ひょう後の6月14日の降ひょう被害についての対策は、別に補正をくむのか。またこの度の補正予算800万円の内容を伺う。

農林課長 本補正予算は、5月25日の降ひょう被害対策である。再生産費への補助で農家を支援し、営農意欲を維持していただくための支援と考える。制度詳細はこれから詰めていくが、支援内容は、ニラ被害の農家支援として、つなぎ融資を含

め資金を借り入れた農家への利子補給、農薬・肥料の新規購入支援と3本立てのパッケージ型支援を検討している。

高橋秀則議員 当町のニラは、県内トップクラスの産地として位置づけられ、大規模農家だけでなく、小規模農家も一緒に4億円もの販売額を創出している。小規模、高齢のニラ農家の経営が閉ざされることのないよう、6月14日の被害についても手厚い支援を考えていくべきである。県、国の注目を集めている事案であり、町としてもしっかりと支援していただきたい。

農林課長 1度も出荷できずに2回の降ひょう被害にあわれた方もいらっしゃると思いますが、小規模経営の一部農家が加工用に出荷をされており、そのこともあわせて支援や対策を検討していく。

菅原道雄議員 ニラ以外の農業被害はなかったか。一方では助成を受け、片方は受けられないことがないよう、他の作物も減収につながらないかしっかりと調査し公平な支援を。

農林課長 定植したてのキュウリやネギも被災したが、消毒などの対応で出荷への支障はないと農協から報告を

受けている。今後、生育に支障が出る可能性もあるが、農協との情報共有を継続し、必要な支援ができるよう秋に向けて注視していく。

◆産地ブランド化促進事業

高橋秀則議員 産地生産パワーアップ事業費補助金が923万5千円計上されているが、事業内容と補助金額の比率は。

農林課長

町内農業法人がトラクター、スライドモア等の機械をリースで導入する事業である。2、000万円強の全体事業費の2分の1が国からの補助金

となるが、コメの収益性向上対策で生産にかかっていた費用を10%以上削減する計画を立てて国の承認を受けることとなる。

◆コミュニティセンター

助成補助金

菅原道雄議員 野崎地区公民館の建替えと聞いているが、8・6水害で進入路に水が上がった箇所だ。一次避難



建替えの始まった野崎公民館

降ひょう被害対策に800万円の補正予算

所としての機能が果たせるように想定しながらすすめるべきではないか。

企画課長 地理的条件を考慮しても、引き続き避難所としての機能を果たすものと考えている。その他、完成までの間、町と地区の打合わせの中で課題が出れば協議していきたい。

物品購入契約

◆除雪ドーザの購入

菅原道雄議員 この地区に配置するのか。増やすのか、更新か。**建設課長** 主に小又地域を除雪する。現在使っているドーザの更新である。

◆路線バスの購入

佐藤正議員 入札参加者数と落札率は。どの路線への配置か。路線の増設なのか。**町民課長** 入札の参加数は4社で、落札率は91・1%である。高坂線の更新である。

◆ゲレンデ圧雪車の購入

小松健弥議員 稼働率は低いが大変高価な機械購入のため、4点について伺う。①今回の

購入理由は。更新か。

②機械設備の更新基準は。③圧雪車の利用状況は。④落札率は。

教育課長 現在の圧雪車は平成22年の購入から11年経過。老朽化して修繕費が高額になるため更新する。更新の基準は、10年経過時点で老朽化状況や修繕見込みを考慮し決める。利用状況は、購入後、クロカンコースとゲレンデの整備に延べ707日で、1日当たり4時間程度の稼働。落札率は3社指名で89・7%である。

小松健弥議員 利用率を高めるとか、費用対効果を改善する方策は。

教育課長 起伏に富みカーブがあるクロカンコース整備で負荷が大きいため、運転時は過負荷に配慮するように指導していく。

舟生源氏議員 現在の圧雪車は下取りか、廃棄か。

教育課長 今後、せり売りの予定である。

平野勝澄議員 購入によって地域経済への貢献もできるといいのだが、県内には販売する会社はなかったのか。

教育課長 国内では県外の1社、その他は外国製の輸入代理店で、限定的な業者にならざるを得なく、指名参加願いの出ている3社を指名した。

五十嵐久芳議員 スキー場の利用者は把握しているか。また、選手育成や利用者拡大の対策等は検討しているのか。

教育課長 利用人数は、10年間でクロカンコース約2万人、ゲレンデ約1万2千人。スキー人口減少が否めないが、

小学生から雪に親しめるようにかに機会を作れるか、指導者の育成・確保、指導の在り方などを町のスポーツ推進委員などの方々と協力し検討していく。



油圧ホースやキャタピラが劣化した圧雪車

その他の議案

(※議案名は簡略標記しています)

◆専決処分(町税条例の改正)

◆専決処分(都市計画税条例の改正)

◆専決処分(過疎地域固定資産税免除条例の改正)

◆令和2年度繰越明許費の報告2件

◆町固定資産評価委員の選任

◆町議会会議規則の改正

田んぼダムの遠隔化を導入しては

町長

効果や課題を検証し検討



高橋 秀則 議員

議員 当町に設置されている砂防堰堤の状況について伺う。

町長 近年では平成28年度に大滝地区のミサガ沢砂防堰堤、平成30年度には三滝地区の七兵衛沢砂防堰堤を整備されている。

この他、県管理の砂防ダムが32基、加えて治山ダムとして県の施設が11基、森林管

理署の施設が133基ある。設置当時の耐震設計において基準を満たしているうえで、現在も長寿命化基準に基づく保全計画により、巡視による目視や定期診断を行ってきており、支障をきたしている施設はないと聞いている。現在計画中の鏡沢地区大荒沢第2砂防堰堤の早期着工や、事業中の

小又地区小又川砂防堰堤の改築工事の早期完成に向け要望活動を継続していく。

議員 親子が触れ合える空間や、釣り客や運動に利用している町民のためにトイレは設置できないか、また、植樹した桜の管理について伺う。

町長 国土交通省では現在、災害防止や環境保全の観点から永久工作物の設置を許可していない。しかし、真室川町においては、排雪

用の管理用道路としての舗装を許可していたに利用している町民のことから、有効な活用方法があればぜひ提案していただきたい。ただ、トイレや遊具については設置できないことから、トイレは現在設置しているものを使用してほしい。また老朽化した秋山公園の遊具については、今年度

●町道新町・新栄町一号线について
議員 道路両端の除草

新橋下流の河川敷の利活用は

町長

永久工作物は許可されないが、有効な活用方法があればぜひ提案を



小松 正弘 議員

議員 親子が触れ合える空間や、釣り客や運動に利用している町民のためにトイレは設置できないか、また、植樹した桜の管理について伺う。

町長 国土交通省では現在、災害防止や環境保全の観点から永久工作物の設置を許可していない。しかし、真室川町においては、排雪

用の管理用道路としての舗装を許可していたに利用している町民のことから、有効な活用方法があればぜひ提案していただきたい。ただ、トイレや遊具については設置できないことから、トイレは現在設置しているものを使用してほしい。また老朽化した秋山公園の遊具については、今年度

町長 国土交通省では現在、災害防止や環境保全の観点から永久工作物の設置を許可していない。しかし、真室川町においては、排雪

用の管理用道路としての舗装を許可していたに利用している町民のことから、有効な活用方法があればぜひ提案していただきたい。ただ、トイレや遊具については設置できないことから、トイレは現在設置しているものを使用してほしい。また老朽化した秋山公園の遊具については、今年度

●町道新町・新栄町一号线について
議員 道路両端の除草

が採択され、豪雨時に一斉操作できる地域内の体制整備や調整を支援するとしている。モデル地区の中には、昨年7月の豪雨により甚大な被害を受けた熊本県球磨川流域の湯前町でも、田んぼダムの効果の検証が進められている。本町は、中山間地域特有の地形で傾斜の急な田んぼが連続する箇所が多いことに加え、機器設置と維持管理に要する多額の費用をどう賄うのか、運用をどうするのかなど、解決しなければならぬ課題が多くあるので、モデル地区での実証結果を検証したうえで、効果や課題を検討していくべきものと考えている。



水害を防止するための施策が求められる

と街路樹の管理・整備について伺う。

町長 現在認定されている町道は256路線ある。集落に近い区域や通行上不可欠な箇所など優先的に除草作業を行っている。更に、「環境美化里親制度」を創設し、地域住民に

よる清掃ボランティア活動や環境美化活動の推進と支援を行い、道路などの公共施設の簡単な管理や美化運動をお願いしている。この度提案の「堤防の上やさくらの植樹地を草刈り機械で刈り取っている町委託の業者への委託」も含め作業手段を検討し適宜対応したい。町浄化センター側の「ハナミズキ」は、枯れ枝の除去など景観の妨げにならないよう植栽に詳しい方から助言をいただきながら管理に努める。



真室川河川敷の排雪用管理道路



地区住民による清掃ボランティア活動

コロナ禍のもとでの学校運営の状況は

教育長

■感染予防対策と教育活動を両立させている



平野 勝澄 議員

議員 新型コロナウイルスス禍のもとでの学校の状況は。校外活動に関する対策や、精神的ケアの必要性に、どう対処しているか。

教育長 校外学習や修学旅行について昨年度は、小学校では行き先の感染状況や予防対策などを踏まえながら宿泊を日帰りにしたり、行き先の変更もしなが

ら実施した。中学校の東京方面の修学旅行は、今年度に延期した。今年度も感染状況に関する情報を十分に踏まえながら検討している。

中学校の修学旅行は新2年生が11月、昨年度延期となった3年生が9月に計画しているが、全国的な感染状況もあるので、第2案、第3案も持ちながら生徒と

議員 町内におけるごみ処理の現状と課題について伺う。

町長 可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ等は、最上広域市町村圏事務組合が運営しているごみ処理施設「エコプラザもがみ」「リサイクルプラザもがみ」において中間処理の段階で資源化を図るとともに、資源化できないごみに

ついては、焼却や埋め立てをするなど適正に処理・処分している。家庭系ごみの1日当たりの排出量については、減少傾向にあるものの、県平均を上回っている状況にある。

議員 町のごみの減量化・再資源化に向けた取り組みについて伺う。

町長 町では、各地区の区長を衛生組合長・



姉崎 園子 議員

町長

■関係団体と連携、環境にやさしいまちづくりを推進

□ごみの減量化、再資源化の取り組みについて

口、スーパー等に回収ボックスを設置し「新庄もがみ方式」にて再資源化に取り組んでいる。

議員 町民への周知、広報に係る役割について伺う。

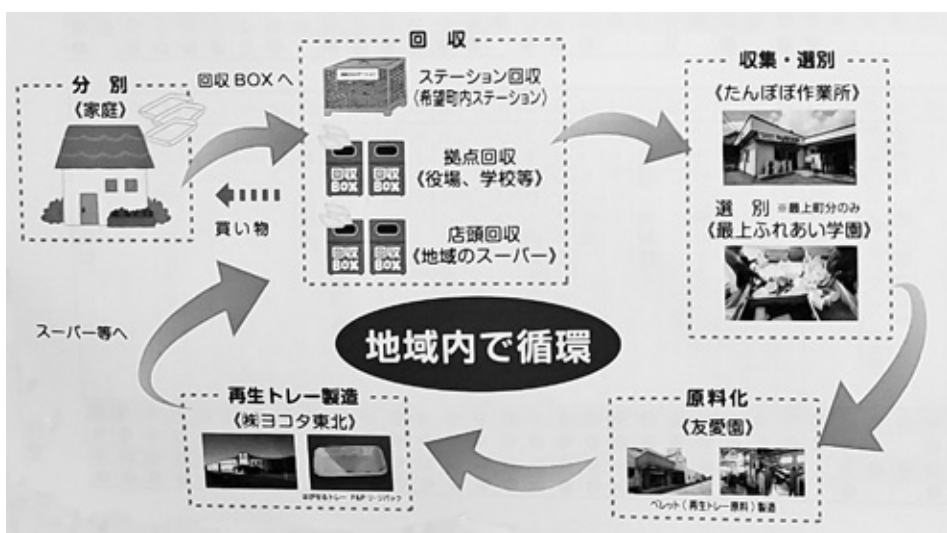
町長 町では、普及啓発活動として出前講座の実施、環境フェアでの分別方法の掲示を行っている。ごみの減量化や資源化を図るには、関係団体と連携しながら町全体で取り組む必要があると考える。

その他の質問

●障がい者が安心して生活できる支援体制について

町長 「真室川町障がいのある人もない人も共に生きる町づくり条例」を制定し、誰もが生き生きと自分らしい

生活を営み、人格と個性を尊重しあいながら安心して暮らすことのできる共生社会の実現を目指す。



食品トレーリサイクルシステム「新庄最上方式」

●コロナ禍による経済的苦境をふまえ、

その他の質問

に力を入れてきた。マスク着用の影響で対人関係で不安を覚えるケースがあり、学校ではあらゆる場面で児童生徒の心身と行動の変化を観察し、声をかけ、支援に努めてきた。県配置のスクールカウンセラーを活用し、個別の相談機会を設け、心の問題の特別授業も行ってきた。

行事の中止や縮小などは現在も続く状況だが、子どもたちは自分や家族の健康と生命、社会の安全のためと理解できているようだ。仲間と考え、工夫しながら学校生活に取り組んでいるので、見守っていただきたい。



ICTを活用した小学校の授業風景

給食費の無料化や補助の増額、「生理の貧困」対策などの考えはないか

町長 町の財政状況や社会的な要請などを見極めて検討していく。

豪雨災害時の対応は

町長

■国の事業などを活用し復旧している



舟生 源氏 議員

議員 農地農業用施設及び林道の被災対応について伺う。

町長 農地が被災した際、国では工事費40万円以上／箇所の工事を対象に復旧事業を実施している。

町では、40万円以下の復旧工事に補助率2分の1、上限20万円を補助している。この事業により、平成29年7

月の豪雨災害で8件・102万4千円、平成30年8月の災害では63件・962万1千円を交付している。

林道の災害対応については、平成29年7月、平成30年8月の豪雨災害での被災箇所を、国の事業等を活用し復旧しており、今後も災害が危惧される際は、現地確認を行い安全に通

行できるよう努めている。

●米価の推移について
議員 町の基幹産業と位置付ける農業における米価について伺う。

町長 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う移動制限や飲食業の営業時間短縮などにより、業務用米の消費が落ち込み、米余りの状

真室川町ハザードマップの運用状況と課題について伺う

町長

■関連する法改正に合わせ見直し、6月下旬に全戸配布する



小松 健弥 議員

議員 近年の異常気象や地震などによりハザードマップの役割は今

まで以上に重要になっており、災害に備える為には欠かせないツールである。ハザードマップ更新のタイミングや住民への周知、資料の活用、また、後世へ引き継ぐ為の改訂時の変更及び改善の履歴管理について町長の考え

は。

町長 真室川町ハザードマップについては、国や県の指導の下、浸水想定を見直し、現在、5月に成立した災害対策基本法の内容を確認し、変更内容を取り入れた上で、今年度への予算繰越時の予定通り出水期前の6月下旬に最新版を全戸配布する。また、ハザード

マップの更新については、国や県の浸水想定見直しや、県が指定する土砂災害・地すべり区域の更新時期に合わせた対応となる。法改正に合わせ避難勧告の記載を削除、避難指示に一本化した避難情報に改正し、災害時の行動のとり方や災害情報の入手方法などを掲載した。

態が続いている。町の主力品種である「はえぬき」や「雪若丸」は元年産と比較し価格が下落する結果となった。

令和3年産米については、このまま在庫が積み上がれば価格下落が危惧されるが、ワク

チン接種が普及して以前の日常生活に戻れば需要の回復も見込めるので、今後も米の在庫状況や価格の動向を注視していく。

議員 過去に米価下落に対して補助を実施したことがあるのか。

町長 平成26年産米の価格下落の際は、町が制度資金への利子補給を行い、県が翌27年産水稻種子購入への助成を実施している。



平成30年の豪雨災害(川ノ内地区)

議員 世の中が進歩し、スマートフォン等の情報インフラが普及し生活は便利になるが、高齢者を含め知識や知見不足で進歩した技術の恩恵を享受できない方が多くおられ、その情報弱者の方々への命にかかわるような情報の提供方法と情報共有の在り方について町長の考えは。

町長 防災については、総務課を中心に消防北支署や町消防団との情報共有を図り、自主防災組織の研修会や防災座談会など機会を捉えて説明や、研鑽・啓発に努める。また、防災行政無線受信機を各戸に設置する計画立案を今年度に行う。



新たな避難情報のイメージ(総務省HPより)

議会のうごき

令和3年5月～7月

- 5月7日(金) 最上地区広域連合議会運営委員会、同全員協議会
- 10日(月) 新人議員研修会
- 12日(水) 最上地区広域連合議会運営委員会、同臨時会
- 13日(木) 町老人クラブ連合会総会
- 17日(月) 最上広域市町村圏事務組合議会全員協議会
最上地方町村議会議長会総会
町スポーツ協会表彰式・町民体育大会開会式
- 18日(火) 最上広域市町村圏事務組合議会臨時会
最上開発協議会総会
- 21日(金) 町議会議員協議会
- 26日(水) 最上県勢懇話会
- 27日(木) 産業福祉常任委員会農作物被害調査
- 31日(月) 知事を囲む自治振興懇談会
- 6月1日(火) 山形県町村議会議長会総会
- 4日(金) 新人議員研修会
- 9日(水) 議会運営委員会、同全員協議会
- 10日(木) 最上地方町村議会議長会監査会
- 16日(火)～18日(金) 町議会6月定例会
- 22日(火) 最上地方町村議会議長会総会
- 25日(金) 最上地区広域連合議会運営委員会、同全員協議会
- 29日(火) 最上地区広域連合議会定例会
- 30日(水) 山形県勢懇話会総会
- 7月1日(木)～2日(金) 産業福祉常任委員会所管事務調査
- 5日(月)・8日(木) 総務文教常任委員会所管事務調査
- 6日(火) 最上県勢懇話会
- 13日(火) 教育懇談会
- 15日(木) 町連合婦人会との懇談会
- 20日(火) 町議会議員協議会
町農業委員会との意見交換会
- 21日(水) 議会広報研修

中止・自粛の日程

- 町村議会議長・副議長全国研修会
- 茨城県古河市議会との交流会

○議会広報常任委員会の開催（7/6、7/12、7/14、7/15）



本年9月定例会から
配信予定です



【提出者】
沖繩に回答する会@山形代表 漆山ひとみ
※議員へ配布のみ

陳情

●辺野古基地建設のために沖縄戦犠牲者の遺骨の残る沖縄本島南部からの土砂採取を中止するよう国および国会への意見書の採択を求める陳情

請願

案件がありませんでした。

議会のインターネット配信を始めます

町議会では、「開かれた議会」実現のため、新役場庁舎の竣工に合わせて議場のインターネット配信の準備を進めてまいりました。3月定例会から映像録画を開始して確認・検証を行い、9月定例会からの配信開始を目指しております。

舍人口で検温・手指消毒を行うといった働き、マスクを着用のうえご入場いただいております。また、傍聴席は、社会的距離を保つため1席おきにお座りいただいております。定員が通常の半数となつております。このようなご不便をおかけしている状態でありましたが、今後は皆様お手持ちのパソコンやスマートフォン

などでライブ中継や9月定例会以降の録画映像もあとから視聴いただくことが可能となります。また役場庁舎1階のモニターでもご覧いただくことが可能となります。3密対策としても有効にご活用いただければ幸いです。

多くの町民のみなさまにご覧いただいていることを肝に銘じ、議員一同更なる緊張感をもって議会に臨みたいと思います。

新人議員研修会を開催

去る5月10日、議会制度の基礎知識を習得し、議会全体の資質向上を図ることを目的として、先の真室川町議会議員選挙で初当選した新人議員4人が、議会運営の基礎などについて研修を受けました。

講師には、山形県町村議会議長会前事務局長である武田裕樹氏をお迎えし、「議会・議員の役割・責務と権限、議員の発言と議会運営について―議員の本質は発言―」をテーマに、憲法や地方自治法に照らしながら議員活動・議会運営について学びました。

その後、新人議員は、他町村議会の傍聴研修、6月9日の全員協議会などを経て、16日招集の6月定例会に臨み、町議会議員としての実質的な第一歩を踏み出しました。



新人議員研修を終えて



小松健弥 議員

議会制度の基礎知識などについて、あらかじめ書籍等を通して学んではおりましたが、いざ自分がその立場になり、新人議員研修会に参加してみると、議会や議員の役割、責務、権限、議員の発言と議会運営などについて学ぶことができ、なすべき事の多さと責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いで研修を修了しました。

その上で初の6月定例会に臨み、議案審議や一般質問を経験し、これから更に当町の課題に向き合い、暮らし続けられるまちづくりを目指して色々な方々と力を合わせ活動していきたいと、決意を新たにしました。

産業福祉常任委員会

農産物の降ひょう被害を調査



5月25日の夜に発生した降ひょうにより、ニラを中心とした農作物に甚大な被害が生じました。産業福祉常任委員会（高橋秀則委員長）では、5月27日にニラやネギ、キュウリなどの被災状況を調査しました。調査には、JAおいしいもがみ担当者や被災農家の方にも立会いをいただき、特に今シーズン第1回目の収穫間際であったニラについては、加工用としても出荷することができないほど広範囲にわたって葉が傷んでいることを確認しました。相当な被害が発生しているため、引き続き調査を進めて、県や町の支援対策を注視していきます。

町民の声



町民生・児童委員協議会長

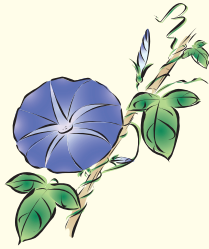
伊藤正三さん

6月の定例議会は、佐藤一廣新議長の下4人の新議員を迎え見所満載の議会が展開されることを期待して傍聴に伺いました。

5月発行の「議会だより」に4人の新議員の心構えが載っており、街づくりに取り組む決意が強く感じられ、どのような内容の一般質問が出るのか楽しみでした。

議会2日目は、3人の新議員が登壇し、それぞれ質問されました。率直な感想は、ちよつと物足りなさを感じました。もう少し思いのこもった内容になるのかと勝手に思っていました、「んっ」といった感じでした。

初めての一般質問という事で、かなり緊張している様子が伝わってきました。これからの活躍を期待します。



傍聴お待ちしております

●次回の
定例会は

9月です

9月定例会からの議会中継や、過去の本会議議事録は町ホームページでご覧いただけます。

URL

<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>



お問い合わせは _____

議会事務局まで

☎62-2220 (直通)



編集を終えて

季節外れの降ひょうがあり5月25日最上郡内北部で、更に6月14日には差首鍋地区で町主要農作物である「ニラ」や「アスパラ」、「キュウリ」などに被害がありました。謹んでお見舞い申し上げます。

一年延期された東京オリンピックが開催されます。コロナ禍で制限はあると思いますが、無事に開催され、世界中に感動を巻き起こしてほしいと願っています。

今議会は、新たに始まるネット中継のテスト議会でもあり、全員緊張した面持ちで臨みました。

議会だよりをご覧いただき町民の皆様方のご意見等お寄せいただければ幸いです。

(小松正弘)

議会広報常任委員会

委員長	委員長	委員長	副委員長	委員長
平野勝澄	小松正弘	小松健弥	舟生源氏	姉崎園子